

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校楽器有効活用					所管	教育委員会 庶務課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 平成 22 年度	
		[小 柱]							[終了予定] - 年度	
		[施 策]								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし					
	事業対象	直接的な対象:区立小学校 最終的な対象:区立小学校在学児童								
	事業目的	器楽教育に使用する楽器の整備と有効活用を図り、児童の情操教育効果を高める。								
事業内容	楽器を有効活用するため、楽器の所蔵(楽器購入、活用されていない各校所蔵の楽器を教育委員会に移管)、楽器の修理、維持管理、楽器貸出を行う。									
委託の有無	なし		委託内容							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	楽器購入数(累計)		台	240	112	143	168		
		楽器貸出数		台	265	91	141	166		
	決算額 (単位:千円)					6,727	6,700	6,728		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				935	962	1,248		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				6,727	6,701	6,728		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				7,662	7,663	7,976		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源(区負担額)				7,662	7,663	7,976				
前回評価から改善した事項	教員が必要な楽器を選定しやすいよう、所蔵楽器一覧の様式を変更した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	学校ごとの楽器管理では、高額な楽器を購入し、管理することは難しいため、教育委員会での一括管理が必要である。							
	効率性	3	教育委員会で楽器を一括管理し、共有することにより、全校での楽器購入にかかるコストを抑えることができる。							
	手段の適切性	3	購入楽器の選定方法、貸出時期及び貸出ルールについて検討する必要があるが、教育委員会での一括管理という大枠は適切である。							
	目的達成度	3	楽器を有効活用することで、器楽教育を受ける機会を増やすことにより、児童の情操教育効果向上が図られている。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
楽器を有効に活用することで、楽器の過不足が減少したが、さらなる過不足解消のため、選定方法、貸出時期及び貸出ルールを検討する。										